



新開まさひこ通信

あけぼの曙

公明党福岡県議団 会報

発行責任者

福岡県議会議員

新開 昌彦

福岡市早良区曙2-1-35

Vol.99号

令和6年7月17日発行

新開昌彦が公明党代表質問(6月13日)

●知事の政治姿勢

✧海外視察から八女茶の有機栽培の増産他✧半導体・水素戦略についての取組✧孤独・孤立対策について

●生きづらさを抱える若者への支援について●薬剤耐性菌と下水サーベイランスの導入●デコ活について●中小企業支援について●総合評価の新たな評価項目追加について●高校での特別支援教育の充実について●SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺対策について、知事、教育長、警察本部長に答弁を求めました。

★質問の様子は下記、福岡県議会のホームページからご覧になれます。

https://fukuoka-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=play_vod&inquiry_id=2858



代表質問する新開昌彦



代表質問から主な実績



知事との同行視察から3問

公明党は、今期14回の海外視察の内2回参加しました。私は、6月23日～27日イギリスとフランスを訪問。

●福岡の知名度は思った以上に低い事や、県産品の輸出にはブランド化できる付加価値をつけることが大前提だ。ということもご教示頂きました。

②フランスでは狂言が人気

大濠公園の能楽堂で行われる能、狂言を分かりやすく上演できる工夫をと質問。能楽協会と協議しホームページの改定も進めていくと知事答弁。



議会の海外視察の在り方を議論

議会の海外視察のあり方を検討するため新開、壹岐和郎議員が委員として参加。

●旅費を実態に即した予算をたてることは当然として、視察前に研修することや視察者本人による事後の報告書作成なども提案しました。

①有機栽培の八女茶を増産してほしい

「有機栽培されたお茶は毎年味が変わる?」との問いにイギリスの茶商から「それを楽しんでい。もっと栽培してほしい」と要望。知事も増産に向けて検討していくと答弁。



③福岡ゆかりの茶懐石秋吉の活用

渡仏して一年でミシュランの一つ星を獲得された秋吉雄一郎氏。

すぐれた食材と県産品を一流の店で紹介する手法も取りたいと知事。



●6月19日プロジェクトチームは、議長に以下中間答申を出しました。①実態に即した予算建てをする②県議会独自の視察は年間予算に上限を設ける③視察先や目的、日程を事前に議会ホームページに公表する④調査の結果は帰国後、参加議員全員が関わる形で報告書にまとめ公開する。他